

「さいたま市小・中一貫教育」研究発表会 研究紀要

「小・中一貫 児童生徒の確かな学力の向上」

～9年間を見通したカリキュラムや学習活動の研究～



あいさつ

さいたま市教育委員会
教育長 稲葉 康久

さいたま市立常盤中学校、常盤小学校、仲町小学校、常盤北小学校の4校が、平成27・28年度さいたま市教育委員会委嘱による「さいたま市小・中一貫教育」の研究指定校として、その成果を発表されますことに、心からお喜び申し上げます。

常盤中学校区の小・中学校4校は「小・中一貫児童生徒の確かな学力の向上」を研究主題とし、小・中学校9年間を見通した学習指導について、共同で研究を推進されました。

研究を進めるに当たっては、児童生徒の実態や地域、保護者の願いを踏まえて、「志を立て自ら行動する児童生徒」「目的を成しとげようと自分で考え行動する子」を目指す児童生徒像に設定されました。この具現化を目指して、4校の教職員が活発に交流され、国語、算数・数学、体育・保健体育を中心として、小・中学校9年間を見通した学習指導について、研究を進められました。

その結果、共通のルールが設定されるとともに、系統性を意識した学習指導が展開されるようになりました。中学校に進学するに当たり、学習面に不安を感じている子どもたちの現状を踏まえ、その緩和にむけて正面から取り組んだ常盤中学校区の研究は、大変意義のある取組であると考えます。

結びに、本研究に熱心に取り組んでこられました4校の校長先生をはじめとする教職員の皆様、御支援くださいました保護者、地域の皆様にご心から感謝申し上げます、あいさつといたします。

あいさつ

さいたま市立常盤中学校 校長 山下 誠二
さいたま市立常盤小学校 校長 五十嵐友一
さいたま市立仲町小学校 校長 武井 悟
さいたま市立常盤北小学校 校長 永嶋 和実

平成26年度に「さいたま市小・中一貫教育」が全面実施となりました。激務である教職員が、仕事を上乗せさせられるという思いではなく、「できる取組」を地道に一步ずつ進めていくことが、児童生徒と教職員、あるいは保護者、地域の皆様との人間関係づくりへの近道だと考えます。

常盤地区では、歴代の校長先生方や教職員、そして保護者、地域の皆様が築きあげてきた小・中学校の円滑な接続のための様々な工夫や取組がなされてきております。それを継承しつつ、本研究では、「小・中一貫 児童生徒の確かな学力の向上～9年間を見通したカリキュラムや学習活動の研究～」を研究主題として、「学習ルールの系統化」「教科ごとの系統性を考えた授業づくり」等に取り組んできました。

本研究を推進していく上で、手前味噌とは存じますが、教務主任や研究主任の実務者の連携が大変素晴らしく、全体構想から学習指導案の形式等、細部にわたって研究の中心となり進めていただきました。小・中一貫教育推進の鍵は、当然のことながら児童生徒の直接の指導者である教職員どうしの人間関係と言っても過言ではなく、それを小・中学校の全職員が理解し、進めていくことだと考えます。

今後とも、さいたま市教育委員会をはじめとする関係の皆様の御指導をお願い申し上げます、あいさつといたします。

平成28年11月9日（水）

さいたま市立常盤中学校
さいたま市立常盤小学校
さいたま市立仲町小学校
さいたま市立常盤北小学校

仲町小・常盤中の実践（算数／数学）

少人数による学び合い「コミュニケーションタイム」

学習の様々な場面において、子どもたちに預ける時間として学び合いの時間「コミュニケーションタイム」を設ける。

課題をつかむ場面



自力解決の場面



全体の練り上げ場面



学習のまとめ「学習感想」と「振り返り」

「分からなかった」ことが「分かった」になった、その過程と変容を子どもの言葉で表現する。



今日の学習でこんなことが
できるようになったよ。

